

暗闇のソーシャルエンターテインメント

積水ハウス×ダイアログ・イン・ザ・ダーク(DID) 共創プログラム 第16回



「対話のカタチのインテリア」

ここちよい空間をつくろう おしゃべりがはずむように
大切な人とつろげるように 自分らしくいられるように
目を使わないからみえてくる インテリアのカタチ!

「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」特別招待イベントのご案内

日本インテリア学会関西支部では、積水ハウス（株）の協力を得て、ダイアログインザダーク「対話のある家」の特別体験を行います。積水ハウス（株）「住ムフムラボ」では、ダイアログインザダーク第16回「対話のカタチのインテリア」を開催しています。このイベントを、インテリア学会員向けに無料で提供して頂けることになりました。この機会に、インテリアの専門家による体験評価と、知り合いや学生にダイアログインザダークを広く紹介していただければとのことです。

12時30分から、14時からの2回、それぞれ6名限定です。特別枠は、先着順で受け付けますので、ぜひ早めに申し込みください。JASISへの申し込み登録後、受付完了の可否を返信致します。

日程は、日本インテリア学会総会開催日となっています。ダイアログインザダークと学会総会にご参加ください。

日時：2017年6月10日土曜日

①12時半～13時40分

②14時～15時10分

場所：グランフロント大阪北館ナレッジキャピタル4階
積水ハウス（株）「住ムフムラボ」内

人数：各回6人（先着順）

申し込み：JASIS関西HP

上部の「お申し込みフォーム」より申込ください。

URL：<http://www.jasis-kansai.jp>

申し込み締め切り：5月26日17時

申し込み受領対象者には、詳細のご案内をお送りします。

申し込み時点で各枠の定員を越えれば、ご連絡します。

内容：ダイアログ・イン・ザ・ダーク「対話のある家」第16回
「対話のカタチのインテリア」

真っ暗闇で視覚に頼らない空間体験を通じて普段は気付かない感覚の使い方など様々な発見があります。普段フル活用していない身体感覚を開いてインテリアを体験してください。

1988年、ドイツの哲学博士アンドレアス・ハイネッケの発案によって生まれたダイアログ・イン・ザ・ダークは、これまで世界39カ国以上で開催され、800万人を超える人々が体験。何千人もの視覚障がい者のアテンド、ファシリテーターを雇用してきました。

日本では、1999年11月の初開催以降、現在は東京・外苑前と、大阪・梅田の常設会場を中心に開催、これまで約19万人が体験しています。

人が感じる「心地よさ」というのは、
視覚情報のみから得られるものではありません。例えば、家具や衣服もデザインなどの見た目だけではなく、
触覚などの身体感覚から得る触り心地の良さなどが、大きく影響を与えています。DID「対話のある家」では、
真っ暗闇で視覚に頼らない体験を通じて、
普段は気付かない感覚の使い方や自身の好みなど、様々な発見があります。
私たちにはない能力を持つ暗闇のエキスパートであるアテンドとの交流も大変興味深いです。



脳科学者 茂木健一郎氏